

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	地方教育行政推進費		事業開始年度	平成10年度		作成責任者
担当部局庁	初等中等教育局		担当課室	初等中等教育企画課		初等中等教育企画課長 中岡 司
会計区分	一般会計		上位政策	地域住民に開かれた信頼される学校づくり		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 48条第1項		関係する計 画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日 閣議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	各市町村教育委員会において展開されている地域の実情、特性に応じた特色ある優れた施策についての情報交換を行い、総合的かつ積極的な地方教育行政の一層の展開に資するため、研究協議会の開催等を行う。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	市(特別区を含む。)町村教育委員会の委員長、委員、教育長、事務局職員等を対象に、全国を2ブロックに分け、文部科学省と開催都道府県の共催で研究協議会を開催する。 8月から12月までの間に、文部科学省の重点事項説明、講演、パネルディスカッション及び事例発表並びに分科会に分かれての研究協議を2日間の日程で行う。					
実施状況	第1ブロック 平成21年11月16日・17日 栃木県宇都宮市(栃木県総合文化センター) 参加者 357人 第2ブロック 平成21年11月19日・20日 滋賀県大津市(琵琶湖ホテル) 参加者 402人					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	3	3	3	0	—
	執行額	6	3	4		
	執行率	200.00%	100.00%	133.33%		
	総事業費(執行ベース)	6	3	4		
自己点検	支出先・ 使途の把 握水準・ 状況	予算の執行は、共催者である開催都道府県教育委員会において、会場使用料や印刷製本費、講師や事例発表者等への諸謝金・旅費等が発生しているが、研究協議会テーマの設定から会場や講師等の選定等綿密な打合せを行い、開催当日は2日間にわたって、文科省の担当者が現地に赴き、計画通りに実施されているか等、事業の実施状況を確認している。また、事業完了後に提出される報告書により、使途の把握を行っている。				
	見直しの 余地	事業の精査を行い、平成22年度より「地方教育行政推進事業」に整理統合。				
予算監 視の・効 率化	この事業については、予算の重点化・効率化を図る観点から、平成22年度予算においては、発展的に他の事業に転換している。					
補 記	平成19年度と21年度の執行率が100%を超えているのは、一部経費を流用して執行したため。					

文部科学省
4.4百万円

委員等旅費 0.3百万円 を含む。

[委嘱]

A. 市町村教育委員会研究協議会の開催
:4.1百万円

滋賀県
:2.2百万円

栃木県
:1.9百万円

各市町村教育委員会において展開されている
地域の実情、特性に応じた特色のある優れた
施策についての情報・意見の交流や教育委員
会の在り方についての研究協議等を行う。

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.滋賀県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借損料	会場使用料	1.7			
印刷製本費	会議資料	0.1			
謝金	基調講演者	0.1			
旅費	全体会・分科会出席者	0.1			
その他	看板等作成費・会議費・消耗品費等	0.2			
計		2.2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0